



ウツボグサに群れるミヤマシロチョウ 2012年7月22日 群馬県湯の丸高原 写真/清水敏道

CONTENTS

-
- 02 海野和男が語るチョウの魅力**
ため池とチョウ
 - 04 津波跡の今**
～2年目の現実～
 - 08 水生昆虫の現状と外来種問題**
昆虫類保全の現場から①
 - 14 保全活動レポート**
チョウセンアカシジミ/岩手県
ギフチョウ/三重県伊賀地方
オオルリシジミ/長野県東御市
ウスイロヒョウモンモドキ/鳥取県鳥取市余戸
 - 16 虫たちの不思議な世界**
「イチモジフユナミシヤク」
 - 18 チョウ類保全の科学アップデート**
 - 20 メレ山メレ子の東方りんぷん録**
「遊星からの物体M」
～天蚕をたずねる、信州の旅～
 - 22 Action for Butterflies**
-
- 12 お知らせ**

チョウの舞う 自然

THE JAPAN BUTTERFLY
CONSERVATION SOCIETY
NEWSLETTER NO.15

日本チョウ類保全協会 会誌15号

表紙：キベリタテハ



前夜の夕立で濡れた下草が、まだ乾ききってはいなかった。大きなミズナラの倒木に、10頭以上のキベリタテハやエルタテハが集まって水を吸っていた。子どもの頃からずいぶん憧れた北国のチョウだ。鮮やかな水色の斑列をあしらった翅は、角度によって赤紫に輝く。黄と紫という派手な組み合わせが、なぜか落ち着いて感じられるのは、仏僧の法衣と同じ配色だからかもしれない。岩手県宮古市 2008年8月1日

写真・文/永幡嘉之